

葦工ニュース

山梨県立葦崎工業高等学校 広報部
第 45 号

2008.05.23

総体特集

優勝レスリング部

準優勝山岳部

関東大会出場ソフトテニス部

ベスト 8 バレー部



目指せ上位入賞 2 桁得点



第 60 回山梨県高校総合体育大会を前にして、本校体育館で、4 月 25 日（金）、壮行会が行われました。

高校総体に出場する部活動の選手が部旗を先頭にユニフォーム姿ではつらつと入場すると、応援する生徒たちの歓声と拍手で会場は大いに盛り上がりました。

金井校長先生、須藤生徒会長の激励の言葉、全校生徒の応援を受け、各部が日頃の練習の成果を発揮し、上位入賞することを誓いました。

第 60 回総合体育大会が開催

5 月 7 日（水）～9 日（金）の 3 日間、山梨県高校総合体育大会が、小瀬、緑が丘スポーツ公園を中心に行われました。

開会式には、小池教頭先生を団長として野球部員が本校の代表として参加しました。高校総体 1 日目は、全校体制で各部の応援をしました。今年度の総体は、2 桁得点を目標に掲げ選手はもちろんのこと、応援にも力が入りました。



団体優勝レスリング部(3 点)

小瀬競技場体育館のサブアリーナで初日に学校対抗戦（団体戦）、2・3 日目にフリーとグレコローマンスタイルの個人対抗戦を行いました。学校対抗戦では、北杜高戦を 5 対 2 で、農林高、谷村工高、学院高戦をそれぞれ 6 対 1 で勝ち、昨年に引き続いて全国高校総体への県代表の切符を得ることができました。

個人対抗戦でも 5 階級を制する強さを見せてくれました。



5 月 30 日から埼玉県東松山市の大東文化大学総合体育館で行われる関東大会では、今年で平成 11 年度からつづいている個人戦優勝者の連続輩出が 10 年目となります。必ずや 10 年連続の記録を達成してくれると信じています。また、8 月 1 日から同じく埼玉県で行われる全国高校総体でも県代表の誇りを持って活躍してくれることを期待したいと思います。

団体準優勝山岳部・第3位スキー部(3点・2点)

総体期間中山岳部は2泊3日で三つ峠山・御坂山・黒岳に登り、競技を行いました。3年生の能勢・中込は特にこの総体に全てを賭けていましたので、相当気合いが入っていました。初日のタイムレースではベストタイムを出し、トップに1分という僅差に迫りました。その他に生活技術・学科試験・歩行技術ともに集中してこなし、準優勝という結果と、また目標であった「夏のインターハイ出場」を達成することができました。冬のスキー競技ではクロスカンントリーリレーの優勝をはじめ各生徒の頑張りにより、総合3位という成績を納めることができました。



夏冬インターハイ出場を果たしたわけですが、今後は全国で対等に戦えるような技術や、精神力を身につけていきたいと思います。普段の練習もハードになってきますが生徒たちへの応援宜しくお願いいたします。

(←左から中込 3-5・能勢 3-1・丸山 1-4・齋藤 2-6)

ベスト8進出バレー部(1点)



バレー部は総体期間中甲府東高校、甲府城西高校の2会場で競技を行いました。今年度、本県で行われる関東大会へ出場するべく日々練習に励んでは来ましたが、力及ばず8位という結果に終わってしまいました。関東大会への出場権を獲得することはできませんでした。ここ数年高校総体で得点を上げられなかったが、今年は1点を勝ち取り6月に行われるインターハイ予選へのステップと考えます。これからもより一層練習に励んでいきたいと思います。

ここ数年高校総体で得点を上げられなかったが、今年は1点を勝ち取り6月に行われるインターハイ予選へのステップと考えます。これからもより一層練習に励んでいきたいと思います。

関東大会個人戦出場(佐藤佑哉・吉澤健之ペア)



4月26日に石和中央テニスコートにおいて、関東高校県予選が行われました。初戦は富士北陵のペアを逆転で破り、2回戦は強豪の甲府昭和のペアに勝ちました。代表をかけた試合は、シードの甲府工業と戦い、4-3で見事に代表権を勝ち取りました。ソフトテニス部は久々の関東大会出場で非常に明るい話題となりました。関東大会・インターハイ予選でも活躍を期待します。

**総体の記録 得点 10点 総合 18位/46校中
過去3年間では H17-4点・H18-5点・H19-7点
成績は年々向上しています。**

今後の予定

5/27~30 第1回定期試験

5/30 系列説明会(1年)

6/14 オープンキャンパス



↓能勢(新潟にて)



U R L <http://www.kai.ed.jp/nirasakith/>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp